



2026 年 10 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社シー・ヴィ・エス・バイエリア
代表者名 代表取締役社長 泉澤 摩利雄
(東証スタンダード市場・コード2687)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 寺 原 房 江
(電 話 : 0 4 3 - 2 9 6 - 6 6 2 1)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績を踏まえ、2026年4月13日に公表いたしました業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027 年 2 月期 第 2 四半期（累計）業績予想数値（2026 年 3 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）

（1）連結業績予想数値

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A） （2026 年 4 月 13 日公表）	百万円 3,958	百万円 183	百万円 207	百万円 142	円 銭 28.79
今回発表予想（B）	4,024	77	81	62	12.63
増 減 額（B－A）	66	△106	△126	△80	
増 減 率（%）	1.7	△57.9	△60.9	△56.3	
（参考）前期実績	3,974	22	46	△66	

（2）個別業績予想数値

	営業総収入	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A） （2026 年 4 月 13 日公表）	百万円 1,989	百万円 104	百万円 136	百万円 94	円 銭 19.11
今回発表予想（B）	2,022	△8	5	13	2.70
増 減 額（B－A）	33	△112	△131	△81	
増 減 率（%）	1.7	-	△96.3	△86.2	
（参考）前期実績	1,873	△57	△30	△86	

2. 2027 年 2 月期 通期業績予想数値（2026 年 3 月 1 日～2027 年 2 月 28 日）

（1）連結業績予想数値

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2026 年 4 月 13 日公表）	百万円 8,094	百万円 414	百万円 364	百万円 245	円 銭 49.76
今回発表予想（B）	8,159	309	238	165	33.61
増 減 額（B－A）	65	△105	△126	△80	
増 減 率（%）	0.8	△25.4	△34.6	△32.7	
（参考）前期実績	7,902	130	△63	△1,139	

（2）個別業績予想数値

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2026 年 4 月 13 日公表）	百万円 4,169	百万円 280	百万円 260	百万円 182	円 銭 36.98
今回発表予想（B）	4,202	167	129	101	20.56
増 減 額（B－A）	33	△113	△131	△81	
増 減 率（%）	0.8	△40.4	△50.4	△44.5	
（参考）前期実績	3,773	15	△150	△1,174	

3. 修正の理由

個別業績では、コンビニエンス・ストア事業、その他事業について、売上高・利益ともに堅調に推移しました。ホテル事業については、行楽シーズンにおける国内レジャー需要の高まりに加え、インバウンド需要の拡大による人流の活発化を背景に、売上高及び客数が伸長しました。一方、原材料価格の高止まりやエネルギーコストの継続的な上昇に加え、サービス品質の向上に向けた人員体制の強化、客室・館内備品の見直し及び入れ替え、並びに施設認知度の向上及び今後の集客力強化を目的とした広告宣伝施策を実施したことなどにより、人件費、消耗品費及び広告宣伝費が計画を上回り、販売費及び一般管理費が増加しました。前連結会計年度と比較して収益面では改善がみられたものの、これらの費用増加の影響により、利益は当初計画を大きく下回る結果となりました。

第3四半期以降も、レジャー及び宿泊需要は一定の拡大が見込まれる一方、天候不順や長引く物価高を背景とした個人消費の低迷、原価コストの上昇など、業績への下押し要因も引き続き想定されます。事業を取り巻く環境は依然として不透明であることから、第3四半期以降の業績については、現時点では期首時点の業績予想に沿って推移するものと想定しております。

なお、連結業績予想の修正は、上記個別業績予想の修正を反映したものであり、マンションフロントサービス事業及びクリーニング事業については、概ね期首予想に沿って推移していることから、業績予想の修正は行っておりません。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。